

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	関係法規Ⅰ	山崎 和達	1/2単位・15時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- 1.到達目標は美容師試験に合格させることであるが、
- 2.将来的には、少子高齢化、国際化の進展に合わせ、多様なニーズに応えられるよう、育成を図りたい。

## 【講義概要】

- 1 免許制度、衛生処置等美容師法の基本的事項を理解させ、美容師として必要な知識の修習ができるように指導
- 2.関係法規を学ばせ、美容師として幅広い知識の形成ができるように指導
- 3.過去問題の傾向をもながら演習を行い、美容師試験に合格できるように指導

回	授業計画及び学習内容
1	法の形式・条例
2	厚生労働省・都道府県の役割
3	保健所の役割と機構
4	美容師法の目的
5	美容師育成施設 1～4回目のまとめ(試験)
6	美容師試験過去問題
7	免許の意義 指定登録機関 補講市町村保健センター
8	免許の仕組み及び効力 免許申請の手続き 過去問題
9	欠格条件 過去問題
10	美容師講ずべき衛生措置 過去問題
11	疾病の感染防止についての責務 過去問題(テスト形式) 1～10回目
12	免許を受けてからの変更手続き
13	業務停止、免許取消、再免許
14	管理美容師
15	まとめ

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とするが、開設しようとしたときなどに効果的な方法をグループディスカッションなど実用的な学習時間も適宜取り入れる。資格試験のありかた、試験で求める知識の概要などを教える。

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	関係法規Ⅰ	山崎 和達	1/2単位・15時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- 1.到達目標は美容師試験に合格させることであるが、
- 2.将来的には、少子高齢化、国際化の進展に合わせ、多様なニーズに応えられるよう、育成を図りたい。

## 【講義概要】

- 1 免許制度、衛生処置等美容師法の基本的事項を理解させ、美容師として必要な知識の修習ができるように指導
- 2.関係法規を学ばせ、美容師として幅広い知識の形成ができるように指導
- 3.過去問題の傾向をもながら演習を行い、美容師試験に合格できるように指導

回	授業計画及び学習内容
16	美容所の開設 過去問題
17	美容所の開設 過去問題
18	美容所の開設 過去問題
19	美容所の開設 過去問題
20	美容所の開設者が講じなければならない衛生措置 練習問題
21	美容所以外の場所での営業 練習問題 出張美容のお知らせ
22	立入検査 練習問題 宿題
23	行政処分 練習問題 宿題
24	行政処分 練習問題 宿題
25	不利益処分 審査請求 罰則 過去問題
26	生活衛生関係営業の運営の適正化及び復興に関する法律 過去問題
27	関連法規 後期まとめ 過去問題
28	進級試験について 後期まとめ 過去問題
29	進級試験について 後期まとめ 過去問題
30	後期まとめ 国家試験について 過去問題

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とするが、開設しようとしたときなどに効果的な方法をグループディスカッションなど実用的な学習時間も適宜取り入れる。資格試験のありかた、試験で求める知識の概要などを教える。

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	衛生管理Ⅰ	木村 稲美	1単位・30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

全員、国家試験合格ラインに到達できるようにする。衛生管理で学んだ知識を習得し社会人として、衛生関連の事象に常に興味を持ち、教養を深める努力をする力を育む。

## 【講義概要】

常に国家試験を意識しながら、教科書の内容を解説。

回	授業計画及び学習内容	
1	公衆衛生の定義・関連人物	16 微生物の種類 細菌の構造
2	公衆衛生の歩み・関連人物 殺菌・消毒・滅菌の定義 小テスト	17 小テスト 微生物の構造 細菌に対する環境の影響
3	麻しん(はしか)について 公衆衛生の歴史	18 細菌の増殖 細菌に対する環境の影響
4	保健とは 母子健康保健と統計	19 ウイルスの増殖 病原体、感受性 小テスト
5	出生動向 死亡率の低下 平均寿命 小テスト	20 用語の定義 汚染、感染、発病
6	健康増進対策 がん・心臓病・脳卒中	21 発病、潜伏期 予防接種
7	生活習慣病 喫煙・アルコール	22 定期的予防接種の覚え方
8	アルコール 健康日本21 人口高齢化率 高齢者医療保険法	23 感染経路
9	介護保険制度 心の健康づくり 小テスト	24 感染症発生の3代要因
10	睡眠について 地域精神保健福祉活動 感染症の歴史	25 予防接種 空気飛沫を介する感染症と主な定期予防接種
11	感染症・伝染病の定義 病原年別分類 小テスト	26 感染予防の3原則
12	病原年別分類 病原体について 小テスト	27 その他の法律で規定されている感染症
13	病原体の身体への侵入・媒介経路による分類	28 感染症各論
14	前期試験対策	29 まとめプリント
15	前期試験対策	30 まとめプリント

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

教科書の音読・線引き・板書を中心に身近な話題などを例に分かりやすく解説をしていく。  
担当教員は山之内(現アステラス)製薬で新薬開発、調剤薬局で調剤業務で勤務した経験があり、実際の衛生処置の仕方、消毒の効果などまたそれに伴い使用する薬の希釈の仕方など具体的に説明しながら授業を展開する。

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	衛生管理Ⅱ	木村 稲美	1単位・30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

全員、国家試験合格ラインに到達できるようにする。衛生管理で学んだ知識を習得し社会人として、衛生関連の事象に常に興味を持ち、教養を深める努力をする力を育む。

## 【講義概要】

常に国家試験を意識しながら、教科書の内容を解説。

回	授業計画及び学習内容	
1	理美容の業務と消毒との関係	16 空気と健康
2	理美容の業務と消毒との関係	17 温度・湿度・気流と健康
3	適用上の注意	18 環境衛生 確認テスト
4	理・科学的消毒法の必要条件	19 気候と健康 衣服の衛生
5	微生物の仕込み	20 食品の衛生 住居の衛生
6	エタノール その他の薬品の交換時期など	21 上水道
7	理学的消毒法	22 下水道 確認テスト
8	紫外線消毒について	23 廃棄物
9	煮沸消毒について	24 衛生害虫 ネズミ
10	蒸気消毒について	25 衛生害虫 ネズミ
11	化学的消毒法	26 自主的管理 施設、設備、器具の管理
12	界面活性剤による消毒	27 まとめ 確認テスト
13	グルコン酸クロルヘキシジンによる消毒	28 まとめ 確認テスト
14	各種消毒法	29 まとめ 確認テスト
15	定期試験	30 試験

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

教科書の音読・線引き・板書を中心に身近な話題などを例に分かりやすく解説をしていく。  
担当教員は山之内(現アステラス)製薬で新薬開発、調剤薬局で調剤業務で勤務した経験があり、実際の衛生処置の仕方、消毒の効果などまたそれに伴い使用する薬の希釈の仕方など具体的に説明しながら授業を展開する。

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	保健 I・II	永田 浩美	3単位・90時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

体の仕組みとその働きを各章ごとに小テストを行い目標60点をを目指す。

人体の基礎知識、皮膚、その付属器官の構造、作用を理解し、美容師として施術を行うあたり、皮膚の健康や疾病に対する意識を高める。

## 【講義概要】

保健の授業を通し、健康を保つ＝美という意識のもと体の仕組みを理解してもらい  
体を心が完全に健康であることがどういうことかを教える。

回	授業計画及び学習内容	
1	人体各部の名称	16 練習問題解説
2	目とその周辺の部位の名称	17 体内の水分量 循環する体液 血液の構成成分 血球の働き
3	各部位の読み方	18 循環器とは 心臓の働き
4	名称の確認	19 心臓と血管の名称
5	骨格器系とその働き	20 心臓と血管 循環の名称
6	頭蓋・脊柱・胸郭・上肢骨と下肢骨	21 心臓と血管 循環の名称 復習
7	筋の分類 骨格筋の分類	22 循環の名称 リンパ管の機能
8	頭部・頸部・上肢・下肢・体幹の筋	23 呼吸器の名称 心臓の血管の名称の復習
9	顔面筋の名称とその働き	24 呼吸器の名称 心臓の血管の名称の復習
10	中枢神経と末梢神経について 脳と脊髄の説明	25 呼吸器系の復習・一問一答 消化器の名称
11	中枢神経の分類 交感神経、副交感神経	26 消化器の名称
12	交感神経と副交感神経の体に及ぼす影響	27 機械的消化の仕組み 化学的消化の仕組み
13	眼球の保護	28 心臓と血管・試験 消化酵素
14	耳・鼻のつくり 味覚・嗅覚の特徴	29 人体の範囲まとめ 復習問題
15	練習問題	30 復習問題

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする教科書の音読・線引き・板書を中心に身近な話題などを例に分かりやすく解説をしていく。  
薬局薬剤師の経験を活かし疾病、薬の実例を挙げ健康であることの大切さを教える。  
薬物乱用のこわさ、不健康＝美しくない皮膚の仕組み疾病も実務経験を混えて授業を展開する。

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	保健 I・II	永田 浩美	3単位・90時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

体の仕組みとその働きを各章ごとに小テストを行い目標60点をを目指す。

人体の基礎知識、皮膚、その付属器官の構造、作用を理解し、美容師として施術を行うあたり、皮膚の健康や疾病に対する意識を高める。

## 【講義概要】

保健の授業を通し、健康を保つ＝美という意識のもと体の仕組みを理解してもらい  
体を心が完全に健康であることがどういうことかを教える。

回	授業計画及び学習内容	
31	皮膚の構造について	46 皮膚付属器官とは 毛の構造 毛の形 成長期とは
32	皮膚にあるもの 皮膚の名称	47 皮膚付属器官 小テスト解説
33	表皮の細胞の名称	48 皮膚付属器官
34	表皮にある細胞 真皮の細胞・線維	49 毛の成長周期
35	いろいろ部位の皮膚の特徴	50 皮膚付属器官
36	練習問題	51 皮膚付属器官
37	皮膚の付属器官について 毛のあらし 毛の構造	52 皮膚の神経循環
38	毛の成長周期の説明 毛の性状の説明	53 テスト解説
39	立毛筋、脂腺、爪の名称	54 皮膚付属器官の生理機能
40	まとめ	55 知覚作用と皮膚反射
41	立毛筋の働き 汗腺の話 爪の部位の名称	56 分泌排泄物
42	練習問題の解説	57 呼吸作用 吸収作用
43	皮膚の特別な血管網	58 再生作用 毛のはたらき 爪のはたらき
44	リンパ管の働き	59 皮膚と付属器官
45	受容器の名称	60 皮膚と精神

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする教科書の音読・線引き・板書を中心に身近な話題などを例に分かりやすく解説をしていく。  
薬局薬剤師の経験を活かし疾病、薬の実例を挙げ健康であることの大切さを教える。  
薬物乱用のこわさ、不健康＝美しくない皮膚の仕組み疾病も実務経験を混えて授業を展開する。

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	保健 I・II	永田 浩美	3単位・90時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

体の仕組みとその働きを各章ごとに小テストを行い目標60点をを目指す。

人体の基礎知識、皮膚、その付属器官の構造、作用を理解し、美容師として施術を行うあたり、皮膚の健康や疾病に対する意識を高める。

## 【講義概要】

保健の授業を通し、健康を保つ＝美という意識のもと体の仕組みを理解してもらい  
体を心が完全に健康であることがどういうことかを教える。

回	授業計画及び学習内容	
61	皮膚の老化 治療法について	76 皮膚疾患3
62	皮膚と付属器官	77 皮膚疾患4
63	皮膚と付属器官	78 皮膚疾患5
64	皮膚と付属器官	79 皮膚疾患6
65	皮膚と付属器官	80 皮膚疾患7
66	皮膚と付属器官	81 皮膚疾患8
67	傷んだ髪のカケア 爪のカケア	82 皮膚疾患9
68	子供のおしゃれによる皮膚トラブル	83 皮膚疾患10
69	皮膚と付属器官	84 皮膚科学まとめ
70	皮膚と付属器官の保健	85 保健まとめ
71	小テスト 染毛剤によるかぶれ	86 皮膚全体の復習
72	練習問題の解説	87 皮膚全体の復習
73	皮膚付属器官の保健	88 皮膚全体の復習
74	皮膚疾患1	89 皮膚全体の復習
75	皮膚疾患2	90 テスト解説

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする教科書の音読・線引き・板書を中心に身近な話題などを例に分かりやすく解説をしていく。  
薬局薬剤師の経験を活かし疾病、薬の実例を挙げ健康であることの大切さを教える。  
薬物乱用のこわさ、不健康＝美しくない皮膚の仕組み疾病も実務経験を混えて授業を展開する。

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	化粧品化学 I・II	丸 美恵	2単位・60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

美容師国家試験合格、美容師の業務で使用する物質について配合目的、性質や作用、及び取り扱いの注意点について理解する。

## 【講義概要】

化粧品に含まれる成分の名称、作用、性質、用途を態体的に教える。  
又、それらの成分の科学や自然現象との関係及び他の用途について関連づける。

回	授業計画及び学習内容	
1	教科説明	16 高分子化合物
2	元素記号、化学式	17 色剤
3	化粧品の規制	18 色剤
4	イオン、原子量、分子量、液体	19 香料
5	化粧品の安全性、取り扱い上の注意	20 その他の配合成分
6	化粧品の安全性、取り扱い上の注意	21 その他の配合
7	化粧品の原料	22 その他の配合 ネイルまつ毛エクステーション
8	化粧品の原料	23 ネイルまつ毛エクステーション
9	水性原料	24 皮膚清浄用化粧品
10	油性原料	25 皮膚清浄用化粧品
11	界面活性剤、油性原料	26 皮膚清浄用化粧品
12	界面活性剤	27 クリームの種類と機能
13	界面活性剤の種類	28 その他の基礎化粧品
14	界面活性剤の種類	29 まとめ
15	高分子化合物	30 定期試験

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする教科書の音読・線引き・板書を中心に身近な話題などを例に分かりやすく解説をしていく。  
薬剤師、臨床検査技師、帝京大学医学部中央機器室勤務などの実務経験を活かし、実際に使用する化粧品やカラー剤、パーマ剤などの性質や作用、配合目的などを詳しく解説しながら授業を展開していく。



開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	香粧品化学 I・II	丸 美恵	2単位・60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

美容師国家試験合格、美容師の業務で使用する物質について配合目的、性質や作用、及び取り扱いの注意点について理解する。

## 【講義概要】

香粧品に含まれる成分の名称、作用、性質、用途を態体的に教える。

又、それらの成分の科学や自然現象との関係及び他の用途について関連づける。

回	授業計画及び学習内容	
31	種類と剤形 ベースメイクアップ香粧品	46 ヘアカラー製品 酸化染毛剤の原理
32	ポイントメイク香粧品	47 ヘアカラー製品 酸化染毛剤の使用
33	シャンプー剤 ヘアリンズ剤 トリートメント剤	48 ヘアカラー製品 酸化染毛剤の安全性
34	シャンプー剤 ヘアリンズ剤 トリートメント剤	49 ヘアカラー製品 その他の製品
35	スタイリング剤 スタイリング剤機能 油性スタイリング剤	50 育毛剤について1
36	スタイリング剤 液状スタイリング剤 高分子物質基材のスタイリング剤	51 育毛剤について2
37	パーマ剤 パーマの原理 パーマ剤の分類 還元酸化反応	52 特殊香粧品 サンケア製品
38	パーマ剤 パーマの原理 パーマ剤の分類	53 特殊香粧品 美白用香粧品 制汗防臭剤
39	パーマ剤第1剤 イオンについて	54 練習問題プリント1
40	パーマ剤第1剤	55 練習問題プリント2
41	パーマ剤第2剤	56 練習問題プリント3
42	パーマ剤第2剤 パーマ剤使用上の注意	57 練習問題プリント4
43	ヘアカラー製品 一時染毛料 半永久染毛料	58 練習問題プリント5
44	ヘアカラー製品 脱色剤 脱染剤の原理	59 練習問題復習
45	ヘアカラー製品 脱色剤 脱染剤の原理 過去問題	60 練習問題復習2

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする教科書の音読・線引き・板書を中心に身近な話題などを例に分かりやすく解説をしていく。  
薬剤師、臨床検査技師、帝京大学医学部中央機器室勤務などの実務経験を活かし、実際に使用する化粧品やカラー剤、パーマ剤などの性質や作用、配合目的などを詳しく解説しながら授業を展開していく。

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	文化論Ⅰ・Ⅱ	藤倉 明子	2単位・60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

国家試験を念頭に歴史が苦手な学生も含めて文化史の知識を確実にとり入れるようにする。  
事実だけでなくその周辺の知識や常識を学ぶことによりそこから繋げていく。

## 【講義概要】

日本、世界の髪型服装を通して文化を確実にそして尊厳をもって知識を取り入れるようにする。写真や画像等を通じてより具体的に知識を身につけられるようにする。

周辺の知識や常識を学ぶことによりその時代を身近に感じられるようにする。

回	授業計画及び学習内容	
1	文化論教科説明	16 コラーージュ
2	石膏デッサン 形の取り方、基礎	17 鎌倉・室町・安土桃山時代衣服 安土桃山・江戸の基礎知識 江戸の男性髪
3	美容業の歴史	18 コラーージュ
4	石膏デッサン	19 コラーージュ
5	美容業の歴史 江戸時代から現在	20 縄文～室町時代 小テスト 答え合わせ 解説・説明
6	石膏デザイン	21 安土桃山・江戸時代 男性の髪型 女性の髪型
7	縄文・弥生・古墳時代の髪型・衣服	22 女性代表的髪型 前・中・後期の特徴
8	石膏デザイン	23 女性代表的髪型 前・中・後期の特徴
9	古墳・飛鳥時代の髪型・衣服 その周辺の文化	24 小テスト 復習
10	コラーージュ	25 明治～第二次世界大戦前 髪型①
11	奈良・平安時代 髪型・衣服 その周辺の文化	26 美容業の歴史 解答解説
12	コラーージュ	27 明治～第二次世界大戦前 髪型②
13	平安時代・衣服・化粧	28 明治～第二次世界大戦前 服
14	コラーージュ	29 明治～第二次世界大戦前 解答復習
15	平安時代・鎌倉・室町時代 髪型・衣服・映像	30 試験

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする教科書の音読・線引き・板書を中心に身近な話題などを例に分かりやすく解説をしていく。  
担当教員は、中高の教員免許と美術・色彩非常勤講師やファッションコーディネーター色彩能力などの知識のノウハウをしっかりと伝えながら授業を進めていく。

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	文化論Ⅰ・Ⅱ	藤倉 明子	2単位・60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

国家試験を念頭に歴史が苦手な学生も含めて文化史の知識を確実にとり入れるようにする。  
事実だけでなくその周辺の知識や常識を学ぶことによりそこから繋げていく。

## 【講義概要】

日本、世界の髪型服装を通して文化を確実にそして尊厳をもって知識を取り入れるようにする。写真や画像等を通じてより具体的に知識を身につけられるようにする。

周辺の知識や常識を学ぶことによりその時代を身近に感じられるようにする。

回	授業計画及び学習内容	
31	髪型・化粧・コールドパーマネットウェーブ・短髪・断髪 <small>髪型・化粧・コールドパーマネットウェーブ・短髪・断髪</small>	46 ルネサンス バロック 服装
32	髪型・化粧・断髪・長髪	47 ルネサンス バロック 服装
33	髪型・性のボーダーレス・服	48 ルネサンス ～ロココ 復習 小テスト
34	服・Gパンの普及・ミニスカート・カラス族・パリコレの影響 <small>服・Gパンの普及・ミニスカート・カラス族・パリコレの影響</small>	49 日本の理容・美容業の歴史 小テスト 復習
35	復習・テスト	50 フランス革命後 王政復古 帝政時代 ヴィクトリア時代
36	エジプト・髪型 服装 メソポタミア文化	51 フランス革命後 王政復古 帝政時代 ヴィクトリア時代
37	ギリシア・ローマ 髪型	52 ヴィクトリア～1900年初頭 髪型 服装
38	ギリシア・ローマ 髪型	53 1900～1940 髪型 服装 化粧
39	ゲルマン民族大移動 ロマネスク(十字軍) スカートとハンタロン <small>ゲルマン民族大移動 ロマネスク(十字軍) スカートとハンタロン</small>	54 1900～1940 髪型 1940～現代 髪型
40	ロマネスク(十字軍)ゴシック(キリスト教会) 髪型・服装 <small>ロマネスク(十字軍)ゴシック(キリスト教会) 髪型・服装</small>	55 フランス革命～1940 復習 小テスト
41	ルネサンス 髪型・服装	56 第二次世界大戦から現代 服装
42	ルネサンス 髪型・服装 バロック	57 第二次世界大戦から現代 服装
43	古代～ルネサンス 小テスト 復習	58 第二次世界大戦後～現代 小テスト
44	ルネサンス バロック 髪型	59 礼装の種類
45	バロック ロココ 髪型	60 現代基本常識 冠婚葬祭

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とする教科書の音読・線引き・板書を中心に身近な話題などを例に分かりやすく解説をしていく。  
担当教員は、中高の教員免許と美術・色彩非常勤講師やファッションコーディネーター色彩能力などの知識のノウハウをしっかりと伝えながら授業を進めていく。

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	美容技術理論Ⅰ・Ⅱ	川邊 賢子	30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

「なぜそうなのか」を解明し、技術について整然と道筋を立てて説明できるように組みなおしたものが理論だと言える。ので「なぜそうなのか」を解き明かす大事な鍵であることを意識させる。

## 【講義概要】

- 1美容理論について理解を深めていく。
- 2美容技術について理解を深めていく。
- 3美容技術者としての心構えについて理解を深めていく。

回	授業計画及び学習内容
1.2.3	美容技術における用具
4.5.6	シャンプーイング総論
7.8.9	リンス、コンディショナー、トリートメント
10.11.12	スカルプトリートメント
13.14.15	ヘッドスパ
16.17.18	ヘアカッティングとは
19.20.21	シザーズの使い方、正しい姿勢
22.23.24	ヘアカッティングの基礎理論
25.26.27	カット技法
28.29.30	パーマネットウェーブの歴史と現在

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

担当教員はサロンにおける実務経験に基づき、現場での技術者として必要不可欠な美容知識と美容技術の獲得を目指した授業を展開していく。

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	2年・前期・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	美容技術理論Ⅲ	川邊 賢子	60時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
「なぜそうなのか」を解明し、技術について整然と道筋を立てて説明できるように組みなおしたものが理論だと言える。ので「なぜそうなのか」を解き明かす大事な鍵であることを意識させる。			
<b>【講義概要】</b>			
1美容理論について理解を深めていく。 2美容技術について理解を深めていく。 3美容技術者としての心構えについて理解を深めていく。			
回	授業計画及び学習内容		
1.2.3	パーマメントウェーブの理論	46.47.48	カウンセリング
4.5.6	パーマ剤に関する注意事項	49.50.51	フェイシャルケア技術
7.8.9	パーマメントウェーブ技術	52.53.54	フェイシャル及びデコルテケア
10.11.12	宿毛矯正	55.56.57	フェイシャルパック
13.14.15	ヘアセッティングとは	58.59.60	ボディケア技術
16.17.18	ヘアカーリングとは		
19.20.21	ローラーカーリング ブロードライ		
22.23.24	アイロンセッティング バックコーミング		
25.26.27	アップスタイリング		
28.29.30	ヘアカラーリング概論		
31.32.33	毛髪のメカニズム		
34.35.36	毛髪剤使用時の注意事項		
37.38.39	ヘアカラーリングの道具		
40.41.42	ヘアブリーチ		
43.44.45	エステティック概論		
<b>【成績評価表】</b>			
講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。 なお出席全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。			
<b>授業の特徴・形式と教員紹介</b>			
担当教員はサロンにおける実務経験に基づき、現場での技術者として必要不可欠な美容知識と美容技術の獲得を目指した授業を展開していく。			

## 早稲田美容専門学校

## シラバス

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	運営管理 I・II	倉留 康太	1単位・30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

美容師国家試験合格、就業者の権利や開業上の注意を理解し、就業者と経営者の双方からの視点で美容師の業務を学ぶ。

## 【講義概要】

講義形式を基本とするが、時事問題などのテーマをグループディスカッションなどで適宜学ばせ、業界の現状と併せて学ぶ。

回	授業計画及び学習内容	
1	経営に必要なものとは	16 復習
2	前回のプリント 経営戦略とは	17 効率的な仕事の進め方 スケジュール管理
3	理美容の経営について	18 電子メールの活用 ビジネス文書の役割
4	資金の管理	19 ビジネス文書の種類 社内、社外文書の作成例
5	会計 コスト 税金について	20 電話の受け方 電話のかけ方
6	人という資源	21 表とグラフの役割と特徴
7	待遇・福利厚生 給与	22 新聞からの情報収集
8	健康・安全な職場環境の実現	23 ビジネス用語の基本
9	小テスト	24 ビジネス用語 小テスト
10	社会人としての責任 社会保険	25 日本経済の基本構造と変化
11	キャリアプランの重要性	26 情報の收拾選択
12	サービスデザイン	27 総復習
13	価値の実態	28 演習問題
14	マーケティング ミックス	29 試験対策
15	期末試験	30 試験

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

担当教員は、サロンでの実務経験を生かし、現場に直結する知識、美容技術の土台となる技術について最新の情報を提供していく。授業はグループワークも取り入れ、学生が主体的に学べるよう工夫して進めていく。

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	カット I・II	浅野 文隆	60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ヘアカットの理論をよく理解し、カット技術の基本を確実に身につけるようにする。

## 【講義概要】

毛髪の長さを調節すること、毛髪の疎密を整えることなどを通して、ヘアスタイルの基礎をつくりあげることである。想定したヘアスタイルを実現するためには、正確なカット技術が要求される。それらをしっかりと学んでいく。

回	授業計画及び学習内容		
1.2.3	頭の丸みに合わせて切るワンレングス I	46.47.48	アウトラインが揃った前下がり I
4.5.6	頭の丸みに合わせて切るワンレングス II	49.50.51	アウトラインが揃った前下がり II
7.8.9	マッシュルームカット I	52.53.54	レイヤーボブ
10.11.12	マッシュルームカット II	55.56.57	ハイポイントのバックグラデーション
13.14.15	ボックスレイヤー I	58.59.60	テスト
16.17.18	ボックスレイヤー II		
19.20.21	セイムレイヤー I		
22.23.24	セイムレイヤー II		
25.26.27	刈り上げ・角刈り		
28.29.30	テスト		
31.32.33	デザインカット		
34.35.36	デザインカット		
37.38.39	デザインカット		
40.41.42	デザインカット		
43.44.45	ワンレングス I の復習		

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

担当教員によるデモンストレーションを基本とし全員が理解し出来るようにする。  
経験豊富な担当教員により、様々なカット技術の習得および国家試験課題を踏まえたカット技術向上を目指した授業を展開していく。

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	カットⅢ	浅野 文隆	60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

ヘアカッティングの理論をよく理解し、カッティング技術の基本を確実に身につけるようにする。

## 【講義概要】

毛髪の長さを調節すること、毛髪の疎密を整えることなどを通して、ヘアスタイルの基礎をつくりあげることである。想定したヘアスタイルを実現するためには、正確なカッティング技術が要求される。それらをしっかりと学んでいく。

回	授業計画及び学習内容	
1.2.3	国家試験課題スタイル説明 板書	46.47.48 国家試験課題技術展示スタイル作り タイム取り
4.5.6	国家試験課題技術展示	49.50.51 国家試験課題技術展示スタイル作り タイム取り
7.8.9	スタイル作り	52.53.54 国家試験課題技術展示スタイル作り タイム取り
10.11.12	国家試験課題技術展示 スタイル作り	55.56.57 国家試験課題技術展示スタイル作り タイム取り
13.14.15	国家試験課題技術展示 スタイル作り	58.59.60 国家試験課題技術展示スタイル作り タイム取り
16.17.18	国家試験課題技術展示 スタイル作り	
19.20.21	国家試験課題技術展示 スタイル作り	
22.23.24	国家試験課題技術展示 スタイル作り	
25.26.27	国家試験課題技術展示 スタイル作り	
28.29.30	国家試験課題技術展示 スタイル作り	
31.32.33	国家試験課題技術展示 スタイル作り	
34.35.36	国家試験課題技術展示 スタイル作り	
37.38.39	国家試験課題技術展示 スタイル作り	
40.41.42	国家試験課題技術展示 スタイル作り	
43.44.45	国家試験課題技術展示 スタイル作り	

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

担当教員によるデモンストレーションを基本とし全員が理解し出来るようにする。  
経験豊富な担当教員により国家試験合格を目指し、国試対策課題を踏まえたカット技術向上のための授業を展開していく。



## 早稲田美容専門学校

## シラバス

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	2年次・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	カットⅣ	浅野 文隆	150時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
ヘアカッティングの理論をよく理解し、カッティング技術の基本を確実に身につけるようにする。			
<b>【講義概要】</b>			
毛髪の長さを調節すること、毛髪の疎密を整えることなどを通して、ヘアスタイルの基礎をつくりあげることである。想定したヘアスタイルを実現するためには、正確なカッティング技術が要求される。それらをしっかりと学んでいく。			
回	授業計画及び学習内容		
1.2.3	国家試験課題スタイル説明 板書	46.47.48	国家試験課題技術展示スタイル作り タイム取り
4.5.6	国家試験課題技術展示	49.50.51	国家試験課題技術展示スタイル作り タイム取り
7.8.9	スタイル作り	52.53.54	国家試験課題技術展示スタイル作り タイム取り
10.11.12	国家試験課題技術展示 スタイル作り	55.56.57	国家試験課題技術展示スタイル作り タイム取り
13.14.15	国家試験課題技術展示 スタイル作り	58.59.60	国家試験課題技術展示スタイル作り タイム取り
16.17.18	国家試験課題技術展示 スタイル作り	61.62.63	国家試験課題技術展示スタイル作り タイム取り
19.20.21	国家試験課題技術展示 スタイル作り	64.65.66	国家試験課題技術展示スタイル作り タイム取り
22.23.24	国家試験課題技術展示 スタイル作り	67.68.69	国家試験課題技術展示スタイル作り タイム取り
25.26.27	国家試験課題技術展示 スタイル作り	70.71.72	国家試験課題技術展示スタイル作り タイム取り
28.29.30	国家試験課題技術展示 スタイル作り	73.74.75	国家試験課題技術展示スタイル作り タイム取り
31.32.33	国家試験課題技術展示 スタイル作り	76.77.78	国家試験課題技術展示スタイル作り タイム取り
34.35.36	国家試験課題技術展示 スタイル作り	79.80.81	国家試験対策
37.38.39	国家試験課題技術展示 スタイル作り	82.83.84	国家試験対策
40.41.42	国家試験課題技術展示 スタイル作り	85.86.87	国家試験対策
43.44.45	国家試験課題技術展示 スタイル作り	88.89.90	国家試験対策
<b>【成績評価表】</b>			
講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。 なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。			
授業の特徴・形式と教員紹介			
担当教員によるデモンストレーションを基本とし全員が理解し出来るようにする。 経験豊富な担当教員により、国家試験合格を目的として国試対策課題を使用したカット授業を行う。			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	2年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	カットⅣ	浅野 文隆	150時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
ヘアカットの理論をよく理解し、カット技術の基本を確実に身につけるようにする。			
<b>【講義概要】</b>			
毛髪の長さを調節すること、毛髪の疎密を整えることなどを通して、ヘアスタイルの基礎をつくりあげることである。想定したヘアスタイルを実現するためには、正確なカット技術が要求される。それらをしっかりと学んでいく。			
回	授業計画及び学習内容		
91.92.93.	国家試験対策	137.138.139	国家試験対策
94.95.96	国家試験対策	140.141.142	国家試験対策
97.98.99	国家試験対策	143.145.146	国家試験対策
100.101.102	国家試験対策	147.148.149	国家試験対策
103.104.105	国家試験対策	150	国家試験対策
106.107.108	国家試験対策		
109.110.111	国家試験対策		
112.113.114	国家試験対策		
115.116.117	国家試験対策		
118.119.120	国家試験対策		
121.122.123	国家試験対策		
124.125.126	国家試験対策		
127.128.129	国家試験対策		
130.131.132	国家試験対策		
134.135.136	国家試験対策		
<b>【成績評価表】</b>			
講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。 なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。			
<b>授業の特徴・形式と教員紹介</b>			
担当教員によるデモンストレーションを基本とし全員が理解し出来るようにする。 経験豊富な担当教員により、国家試験合格を目的として国試対策課題を使用したカット授業を行う。			

## 早稲田美容専門学校

## シラバス

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	ワインディング I・II	青山 晋	240時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

パーマントウェーブを毛髪の改良剤という発想もうまれてきている。パーマントウェーブの今後はまだまだ進化していくことに対応できる技術を身につける。

## 【講義概要】

コールドパーマントウェーブが世に出てすでに半世紀が経ち、その間、全世界の科学者や化粧品を扱う技術者が多くの薬剤、システム、操作技術に改良改善を加え、進歩させてきた。ファッション性、経済性、操作性、安全性が優先されるなどの事柄を学ぶ。

回	授業計画及び学習内容		
1.2.3	コームの持ち方	46.47.48	全頭の収まり確認
4.5.6	ブロッキング	49.50.51	全頭の収まり確認
7.8.9	ブロッキング	52.53.54	全頭の収まり確認
10.11.12	上巻き	55.56.57	全頭の収まり確認
13.14.15	上巻き	58.59.60	全頭 タイム取り40分
16.17.18	上巻き	61.62.63	全頭 タイム取り40分
19.20.21	上巻き	64.65.66	全頭 タイム取り40分
22.23.24	上巻き	67.68.69	全頭 タイム取り40分
25.26.27	下巻き	70.71.72	全頭 タイム取り40分
28.29.30	下巻き	73.74.75	全頭 タイム取り40分
31.32.33	下巻き	76.77.78	全頭 タイム取り40分
34.35.36	下巻き	79.80.81	全頭 タイム取り40分
37.38.39	下巻き	82.83.84	全頭 タイム取り40分
40.41.42	ブロッキングタイム取り	85.86.87	全頭 タイム取り40分
43.44.45	ブロッキングタイム取り	88.89.90	全頭 タイム取り40分

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

担当教員によるデモンストレーションを基本とし全員が理解し出来るようにする。  
実習が主になっているが薬剤知識など専門知識を養う場合は講義形式を用いて授業を進めていく。  
担当教員は実務経験を用いて実践に近いパーマの施術から国家試験課題まで幅広く展開していく。

## 早稲田美容専門学校

## シラバス

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	ワインディング I・II	青山 晋	240時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
パーマントウェーブを毛髪の改良剤という発想もうまれてきている。パーマントウェーブの今後はまだまだ進化していくことに対応できる技術を身につける。			
<b>【講義概要】</b>			
コールドパーマントウェーブが世に出てすでに半世紀が経ち、その間、全世界の科学者や化粧品を扱う技術者が多くの薬剤、システム、操作技術に改良改善を加え、進歩させてきた。ファッション性、経済性、操作性、安全性が優先されるなどの事柄を学ぶ。			
回	授業計画及び学習内容		
91.92.93	第2ブロック～第4ブロックの確認	136.137.138	全頭タイム取り25分
94.95.96	全頭の収まり確認	139.140.141	全頭タイム取り25分
97.98.99	前回までの復習	142.143.144	全頭タイム取り25分
100.101.102	第5ブロックから第8ブロック	145.146.147	全頭タイム取り25分
103.104.105	第5ブロックから第8ブロック	148.149.150	全体構成確認
106.107.108	前回までの復習	151.152.153	全体構成確認
109.110.111	全頭確認	154.155.156	全体構成確認
112.113.114	全頭確認	157.158.159	全体構成確認
115.116.117	全頭確認	160.161.162	全頭タイム取り25分
118.119.120	全頭確認	163.164.165	模擬定期試験 全頭25分
121.122.123	全頭確認	166.167.168	全体構成確認
124.125.126	全頭タイム取り25分	169.170.171	全体構成確認
127.128.129	全頭タイム取り25分	172.173.174	全体構成確認
130.131.132	全頭タイム取り25分	175.176.177	全頭タイム取り25分
133.134.135	全頭タイム取り25分	178.179.180	全頭タイム取り25分
<b>【成績評価表】</b>			
講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。 なお出席全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。			
授業の特徴・形式と教員紹介			
担当教員によるデモンストレーションを基本とし全員が理解し出来るようにする。 実習が主になっているが薬剤知識など専門知識を養う場合は講義形式を用いて授業を進めていく。 担当教員は実務経験を用いて実践に近いパーマの施術から国家試験課題まで幅広く展開していく。			

## 早稲田美容専門学校

## シラバス

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	ワインディング I・II	青山 晋	240時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

パーマントウェーブを毛髪の改良剤という発想もうまれてきている。パーマントウェーブの今後はまだまだ進化していくことに対応できる技術を身につける。

## 【講義概要】

コールドパーマントウェーブが世に出てすでに半世紀が経ち、その間、全世界の科学者や化粧品を扱う技術者が多くの薬剤、システム、操作技術に改良改善を加え、進歩させてきた。ファッション性、経済性、操作性、安全性が優先されるなどの事柄を学ぶ。

回	授業計画及び学習内容		
181.182.183	全頭タイム取り25分	226.227.228	全頭タイム取り25分
184.185.186	全頭タイム取り25分	229.230.231	全頭タイム取り25分
187.188.189	全頭タイム取り25分	232.233.234	全頭タイム取り25分
190.191.192	全頭タイム取り25分	235.236.237	全頭タイム取り25分
193.194.195	全頭タイム取り25分	238.239.240	全頭タイム取り25分
196.197.198	全頭タイム取り25分		
199.200.201	全頭タイム取り25分		
202..203.204	全頭タイム取り25分		
205.206.207	全頭タイム取り25分		
208.209.210	全頭タイム取り25分		
211.212.213	全頭タイム取り25分		
214.215.216	全頭タイム取り25分		
217.218.219	全頭タイム取り25分		
220.221.222	全頭タイム取り25分		
223.224.225	全頭タイム取り25分		

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

担当教員によるデモンストレーションを基本とし全員が理解し出来るようにする。  
実習が主になっているが薬剤知識など専門知識を養う場合は講義形式を用いて授業を進めていく。  
担当教員は実務経験を用いて実践に近いパーマの施術から国家試験課題まで幅広く展開していく。

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	ワインディングⅢ	青山 晋	60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

パーマントウェーブを毛髪の改良剤という発想もうまれてきている。パーマントウェーブの今後はまだまだ進化していくことに対応できる技術を身につける。

## 【講義概要】

コールドパーマントウェーブが世に出てすでに半世紀が経ち、その間、全世界の科学者や化粧品を扱う技術者が多くの薬剤、システム、操作技術に改良改善を加え、進歩させてきた。ファッション性、経済性、操作性、安全性が優先されるなどの事柄を学ぶ。

回	授業計画及び学習内容	
1.2.3	センター バックサイド サイド 収まり確認 タイム取り	46.47.48 全頭タイム取り20分
4.5.6	センター バックサイド サイド 収まり確認 タイム取り	49.50.51 全頭タイム取り20分
7.8.9	センター バックサイド サイド 収まり確認 タイム取り	52.53.54 全頭タイム取り20分
10.11.12	センター バックサイド サイド 収まり確認 タイム取り	55.56.57 全頭タイム取り20分
13.14.15	センター バックサイド サイド 収まり確認 タイム取り	58.59.60 テスト
16.17.18	センター バックサイド サイド 収まり確認 タイム取り	
19.20.21	センター バックサイド サイド 収まり確認 タイム取り	
22.23.24	センター バックサイド サイド 収まり確認 タイム取り	
25.26.27	センター バックサイド サイド 収まり確認 タイム取り	
28.29.30	センター バックサイド サイド 収まり確認 タイム取り	
31.32.33	センター バックサイド サイド 収まり確認 タイム取り	
34.35.36	センター バックサイド サイド 収まり確認 タイム取り	
37.38.39	センター バックサイド サイド 収まり確認 タイム取り	
40.41.42	センター バックサイド サイド 収まり確認 タイム取り	
43.44.45	センター バックサイド サイド 収まり確認 タイム取り	

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

担当教員によるデモンストレーションを基本とし全員が理解し出来るようにする。  
実習が主になっているが薬剤知識など専門知識を養う場合は講義形式を用いて授業を進めていく。  
担当教員は実務経験をj用いて実践に近いパーマの施術から国家試験課題まで幅広く展開していく。

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	オリジナル	大谷 裕紀	63時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
カッティングやパーマメントウェーブなどと並びヘアスタイルを作り上げていくための技術を習得する。			
<b>【講義概要】</b>			
オリジナルセットを行い次にリセットを行うという2つのプロセスに分けて1つのスタイル作り上げる。			
回	授業計画及び学習内容		
1.2.3	2段目～7段目のフルウェーブ	46.47.48	33分でタイム取り
4.5.6	2段目～7段目のフルウェーブ	49.50.51	30分でタイム取り
7.8.9	3段目スカルプチュアカール練習	52.53.54	28分でタイム取り
10.11.12	4段目リフトカール練習	55.56.57	25分でタイム取り
13.14.15	5段目逆リフトカール練習	58.59.60	構成チェック
16.17.18	6段目メイポールカール練習	61.62.63	模擬試験
19.20.21	7段目クロッキノールカール練習		
22.23.24	1段目スカルプチュアカール練習		
25.26.27	1～7段目まで通し練習		
28.29.30	1～8段目まで通し練習		
31.32.33	各カールごとにタイム取り		
34.35.36	40分でタイム取り		
37.38.39	各ブロックごとにタイム取り		
40.41.42	38分でタイム取り		
43.44.45	35分でタイム取り		
<b>【成績評価表】</b>			
講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。 なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。			
<b>授業の特徴・形式と教員紹介</b>			
実際の実技に関しては担当教員によるデモンストレーションを行い、一人ひとりが理解し実践できるよう工夫をしながら授業を展開していく。 担当教員は実務経験を用いて実践に近いオリジナルセットの施術から国家試験課題まで幅広く展開していく。			

## 早稲田美容専門学校

## シラバス

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	シャンプー I・II	青山 晋	60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

美容の仕事は、シャンプーに始まりシャンプーに終わるといっても過言ではなく、他の技術を施す上においても、見逃してはならない役目がある。シャンプーによって毛髪のコンドーションを整えることは不可欠でありほとんどすべての美容技術の基礎になる技術であるのでしっかり習得させる。

## 【講義概要】

1頭皮及び毛髪の汚れを洗い落とし、清潔に、かつ美しくする。2他の美容技術が容易に行えるようにする。3頭皮や毛髪の性状に応じて、それぞれに適した技術を行い、スカルプマッサージなども併用して、血行促進をはじめとする生理的なはたらきを助け、毛髪の健康な発育を促す。4快感をあたえ、心身のリラクゼーション効果を与える。

回	授業計画及び学習内容		
1.2.3	シャンプー室の使い方	46.47.48	シャンプー・ブラシブロー
4.5.6	シャンプー理論	49.50.51	タイム取り
7.8.9	プレーンリンリンシング	52.53.54	タイム取り
10.11.12	シャンプーイング1	55.56.57	タイム取り
13.14.15	シャンプーイング2	58.59.60	テスト
16.17.18	シャンプーイング3		
19.20.21	シャンプーイング4		
22.23.24	シャンプーイング5		
25.26.27	シャンプーイング6	タイム取り	
28.29.30	テスト		
31.32.33	シャンプー・マッサージ		
34.35.36	耳周り・ネープの長し		
37.38.39	シャンプーの復習	ドライヤー、ブラシの使い方	
40.41.42	シャンプー・ブラシブロー		
43.44.45	シャンプー・ブラシブロー		

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

担当教員によるデモンストレーションを行い実習形式で授業を行う。形に残らない技術でもある。目に見えないがゆえに重要視される点も多い。手指のリズム、姿勢のとりかたなどに気を付けながら進めていく。担当教員は現役時代にシャンプーに定評があり8年以上の実務経験をもとに授業を進めていく。



## 早稲田美容専門学校

## シラバス

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	2年・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	シャンプーⅢ	小谷 和矢	60時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

美容の仕事は、シャンプーに始まりシャンプーに終わるといっても過言ではなく、他の技術を施す上においても、見逃してはならない役目がある。シャンプーによって毛髪のコンデションを整えることは不可欠でありほとんどすべての美容技術の基礎になる技術であるのでしっかり習得させる。

## 【講義概要】

1頭皮及び毛髪の汚れを洗い落とし、清潔に、かつ美しくする。2他の美容技術が容易に行えるようにする。3頭皮や毛髪の性状に応じて、それぞれに適した技術を行い、スカルプマッサージなども併用して、血行促進をはじめとする生理的なはたらきを助け、毛髪の健康な発育を促す。4快感をあたえ、心身のリラクゼーション効果を与える。

回	授業計画及び学習内容	
1.2.3	サイドシャンプーの復習 46.47.48	シャンプーからブロー
4.5.6	バックシャンプーの流れ 49.50.51	シャンプーからブロー
7.8.9	バックシャンプーの流れ 52.53.54	シャンプーからブロー
10.11.12	シャンプーからブロー 55.56.57	シャンプーからブロー
13.14.15	シャンプーからブロー 58.59.60	テスト
16.17.18	シャンプーからブロー	
19.20.21	シャンプーからブロー	
22.23.24	シャンプーからブロー	
25.26.27	シャンプーからブロー	
28.29.30	シャンプーからブロー	
31.32.33	シャンプーからブロー	
34.35.36	シャンプーからブロー	
37.38.39	シャンプーからブロー	
40.41.42	シャンプーからブロー	
43.44.45	シャンプーからブロー	

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

担当教員によるデモンストレーションを行い実習形式で授業を行う。形に残らない技術でもある。目に見えないがゆえに重要視される点も多い。手指のリズム、姿勢のとりかたなどに気を付けながら進めていく。担当教員は現役時代にシャンプーに定評があり8年以上の実務経験をもとに授業を進めていく。

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	カラー I	大嶋 哲也	30時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
お客様にふさわしいヘアカラーが提供できるように、ヘアカラー技術の向上とともに染毛剤・染毛料の性質毛髪の知識、色彩原理、カラーコーディネート、カウンセリングなどの総合力を身につける。			
<b>【講義概要】</b>			
ヘアカラーは永久染毛剤と半永久染毛料、一時染毛料と脱色剤などに分類され、数多くの種類が出現し多様化する要望にこたえられるようになっている。それらを適材適所に使用できるようにこれらを学んでいく。			
回	授業計画及び学習内容		
1.2.3	グレイのヘアリタッチ①		
4.5.6	グレイのヘアリタッチ②ワンメイク		
7.8.9	スライシング ウィービング		
10.11.12	バタフライチップ ウィービング		
13.14.15	ブリーチ		
16.17.18	ウィービング		
19.20.21	カラー① ウィービング		
22.23.24	カラー② ウィービング		
25.26.27	カラー③ ウィービング		
28.29.30	テスト		
<b>【成績評価表】</b>			
講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。 なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。			
<b>授業の特徴・形式と教員紹介</b>			
担当教員によるデモンストレーションを基本とし全員が理解し出来るようにする。 実習が主になっているが薬剤知識など専門知識を養う場合は講義形式を用いて授業を進めていく。 技術の習得はもちろんのこと、アレルギーなどの対応・対策などしっかり学んでいく。			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択課目	外国語 I・II	天久 博一	1単位・30時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

- 1.到達目標は働くうえでの国際英語を習得し、
- 2.将来的には、自分の可能性を広げるコミュニケーション・ツールとして活用できる力を育む。

## 【講義概要】

- 1.学問的な英語ではなく、コミュニケーション・ツールとしての英語を指導
- 2.サロンの場面を想定したケーススタディで接客対応を指導
- 3.英語の学習から海外の文化や習慣の違いを理解できるよう指導

回	授業計画及び学習内容	
1	Introduction	16 What' important
2	Self-Introduction	17 Length Guides
3	Likes&Dislikes	18 Cutting Techniques
4	Greeting	19 Giving a Perm
5	Express your feelings	20 Clorryng the Hair
6	Tense in English	21 Dressing the Hair
7	Reception Desk	22 At the Cashier
8	Checking on the Appointments	23 Apologizing for the Trouble
9	Polite Expressions	24 It's my fault
10	On the Phone	25 During the Oversea Training
11	At the Consultation Area	26 During the Oversea Training
12	At the Shampoo Area	27 Angles and States
13	Prcess of Shampooing	28 Asking Questions
14	English Pronunciation	29 English around Town
15	At the Mirror	30 Test

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

講義形式を基本とするが、ロールプレイングなど実務的な場面を想定した学習時間も適宜取り入れる。  
担当教員は、海外での実務経験に基づいて実際の接客に必要な知識やフレーズを中心に指導。  
今後、美容師育成上必須な技能として授業を展開。

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	メイク I	成島 しおり	30時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
形態学、色彩心理学、実験心理学を理解し美容のプロとして要求されるメイクアップは「サロンワーク」「スタジオワーク」の2つに大別される。それらに活躍できる技術者を育成していく。			
<b>【講義概要】</b>			
メイクアップは、それを現実するための強力な手段である。そして、まず覚えるのは、メイクアップとは単に顔の表面に色を塗る事ではなく、「目的に合った顔づくり」ということを学んでいく。			
回	授業計画及び学習内容		
1.2.3	スケジュール確認	46.47.48	フルメイク
4.5.6	スキンケア	49.50.51	フルメイク復習
7.8.9	スキンケア	52.53.54	フルメイク復習
10.11.12	下地・ファンデーション・フェイスパウダー	55.56.57	フルメイク復習
13.14.15	スキンケア～ハイライト	58.59.60	テスト
16.17.18	ハイライト・シェーディング		
19.20.21	シェーディング		
22.23.24	スキンケア～ベースメイク		
25.26.27	模擬テスト		
28.29.30	テスト		
31.32.33	ポイントクレンジング～ファンデーションまで		
34.35.36	化粧水～ファンデーションまで		
37.38.39	化粧水・ファンデーション・パウダー		
40.41.42	ビューラー・マスカラ～展示		
43.44.45	チーク		
<b>【成績評価表】</b>			
講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。 なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。			
<b>授業の特徴・形式と教員紹介</b>			
担当教員によるデモンストレーションを基本とし全員が理解し出来るようにする。 現場で培った技術、知識を生かし、より実践的な授業を行うことで、即戦力になる人材を育成していく。			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	2年・前期・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	メイクⅢ・Ⅳ	成島 しおり	30時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
形態学、色彩心理学、実験心理学を理解し美容のプロとして要求されるメイクアップは「サロンワーク」「スタジオワーク」の2つに大別される。それらに活躍できる技術者を育成していく。			
<b>【講義概要】</b>			
メイクアップは、それを現実するための強力な手段である。そして、まず覚えるのは、メイクアップとは単に顔の表面に色を塗る事ではなく、「目的に合った顔づくり」ということを学んでいく。			
回	授業計画及び学習内容		
1.2.3	アイブロウ アイメイク		
4.5.6	スキンケア アイメイクバリエーション		
7.8.9	スキンケア チーク リップ		
10.11.12	ベースメイク ハイライト ローライト		
13.14.15	テスト		
16.17.18	メイクアップ、シングルパターンの3色グラデーション		
19.20.21	花嫁化粧		
22.23.24	日本髪の種類と特徴 日本髪のかんざし道具		
25.26.27	日本髪のかんざし技術 日本髪の手入れ		
28.29.30	花嫁メイク、かつら試着		
<b>【成績評価表】</b>			
講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。 なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。			
<b>授業の特徴・形式と教員紹介</b>			
担当教員によるデモンストレーションを基本とし全員が理解し出来るようにする。 現場で培った技術、知識を生かし、より実践的な授業を行うことで、即戦力になる人材を育成していく。			

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
選択課目	着つけⅠ・Ⅱ	池田 綾子	1単位・30時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
1.到達目標は、基礎的な着つけの知識と技能の修得であり、 2.将来的には、日本の伝統文化として継承できるよう育成を図る。			
<b>【講義概要】</b>			
1.基本的な名称や知識の習得を目指し指導 2.実際に着ることで注意点や所作なども学ぶ 3.文化的な背景も含めて学ぶことで、複合的な知識と技能の向上を図る			
回	授業計画及び学習内容		
1.2.3	挨拶の種類、教材説明とセッティング		
4.5.6	自分で着物を着る、長襦袢、着物の着方		
7.8.9	人に着せる(相モデル)、長襦袢、着物の着方		
10.11.12	袋帯のセッティングと小物説明、帯結び		
13.14.15	袋帯のセッティングと小物説明、帯結び		
16.17.18	夏の着物と浴衣の説明、男物浴衣の着方、試験対策		
19.20.21	自分で小紋を着る		
22.23.24	女子袴の着つけ、変わり結び		
25.26.27	男子袴の着つけ、角帯の結び方		
28.29.30	小物展示と理論、試験対策		
<b>【成績評価表】</b>			
講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。 なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。			
授業の特徴・形式と教員紹介			
実習形式を基本とするが、知識習得などは講義形式も適宜取り入れる。 相モデルでの実習を取り入れることで、より実践的な技能の習得を図る。 担当教員は小倉・桔梗流着つけ宗師範でありその知識、技量をもとに授業を進めていく。			

## 早稲田美容専門学校

## シラバス

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	美容総合 I	成島 しおり	105時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

1. 日本文化・和装総合知識を身につける。
2. サロンテクニック基礎技術及び応用技術を身につける。

## 【講義概要】

サロンでの実務を想定した実践的な技術を身につけることを目的とする。

回	授業計画及び学習内容		
1.2.3	オリエンテーション	46.47.48	WD実践編
4.5.6	オリエンテーション	49.50.51	カット実践編
7.8.9	接客研修	52.53.54	カット実践編
10.11.12	接客研修	55.56.57	カット実践編
13.14.15	WDウィッグ作成	58.59.60	カット実践編
16.17.18	WDウィッグ作成	61.62.63	カット実践編
19.20.21	外部講師セミナー	64.65.66	外部講師セミナー
22.23.24	外部講師セミナー	67.68.69	カット実践編
25.26.27	外部講師セミナー	70.71.72	外部講師セミナー
28.29.30	WD実践編	73.74.75	総復習
31.32.33	WD実践編	76.77.78	総復習
34.35.36	WD実践編	79.80.81	総復習
37.38.39	WD実践編	82.83.84	総復習
40.41.42	WD実践編	85.86.87	総復習
43.44.45	WD実践編	88.89.90	総復習

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

担当教員は、サロンにおける美容師の経験をもとに実践的な授業を展開する。

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
早稲田美容専門学校	美容科 昼間部(2年制)	2020年	1年・前期・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
必修科目	美容総合 I	成島 しおり	105時間

## 【授業の到達目標及びテーマ】

1. 日本文化・和装総合知識を身につける。
2. サロンテクニック基礎技術及び応用技術を身につける。

## 【講義概要】

サロンでの実務を想定した実践的な技術を身につけることを目的とする。

回	授業計画及び学習内容
91.92.93	総復習
94.95.96	総復習
97.98.99	総復習
100.101.102	総復習
103.104.105	総復習

## 【成績評価表】

講義全体を100点満点として採点する。定期試験80点、授業への参加・意欲20点から成績評価を行う。  
なお出席全体の95%未満の場合は、成績評価の対象外となるので注意すること。

## 授業の特徴・形式と教員紹介

担当教員は、サロンにおける美容師の経験をもとに実践的な授業を展開する。